

# 2020年3月期 第2四半期 決算説明会

2019年11月14日  
堀田丸正株式会社  
代表取締役社長 大西 雅美  
(東京証券取引所第2部 証券コード8105)

## ①前期大幅な赤字計上した洋装事業が黒字転換

- ・馬里邑が粗利改善と販売体制見直しで黒字化
- ・好調なアパレル事業が催事企画寄与で増益
- ・丸福事業はアカウント受注減で減益

## ②和装事業、寝装事業は共に増益を達成

- ・東・西日本共に減収も構造改革効果顕在化
- ・子会社(株)吉利は減益も、在庫削減等効率化
- ・寝装事業はマットレス復調、ギフト事業好調継続

## ③意匠撚糸事業は国内好調も海外が苦戦で減益

- ・国内は增收増益。海外は中国景気の悪化影響
- ・OEMのイエリデザインは国内受注の減少で苦戦

# 決算概要

# 連結損益計算書(第2Q累計)

堀田丸正 株式会社

(売上) 寝装事業が増収も、洋装、意匠燃糸、和装の3事業が減収

(売上総利益) 洋装事業における前期評価減在庫の消化促進で率で3%の改善

(販管費) 馬里邑事業における販売体制の抜本的な見直しで、更なる削減実施

(営業利益) 全4つの事業がすべて黒字計上。特に洋装事業が前期赤字から大幅改善

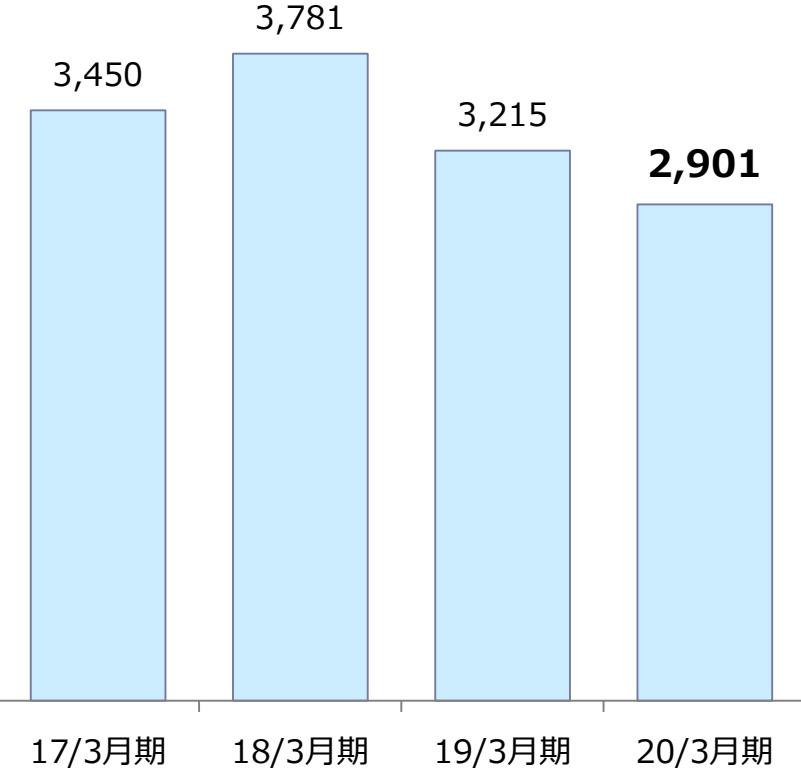
(単位:百万円)

	2019年3月期 第2Q累計	2020年3月期 第2Q累計	増減額	前年同期比
売上高	3,215	2,901	▲314	90.2%
売上総利益	941	935	▲6	99.3%
販管費	1,025	949	▲76	92.5%
営業利益	▲84	▲13	+71	—
経常利益	▲70	▲14	+56	—
当期純利益	▲80	49	+129	—

## 洋装事業（特に馬里邑）の黒字化で大幅な改善が実現

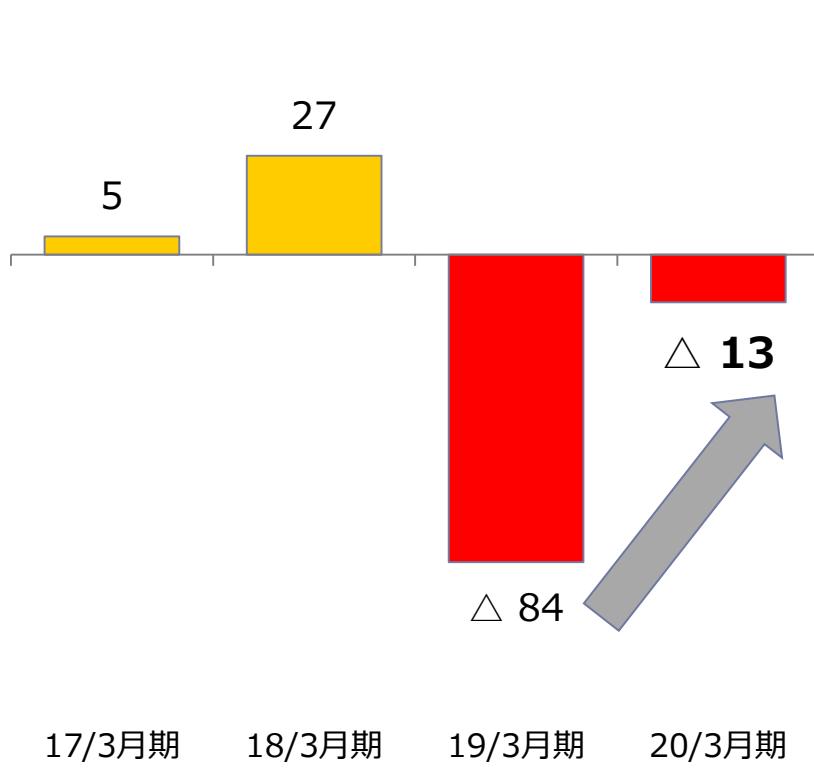
売上高

（単位：百万円）



営業利益

（単位：百万円）



- 減収傾向もコストの厳密な管理が奏功し、全4事業が黒字達成
- コア事業である意匠撚糸は中国拠点の海外売上が景気反映で悪化

(百万円 : %)

	売上高				セグメント利益			
	2019/3期 第2Q累計	2020/3期 第2Q累計	増減額	前年 同期比	2019/3期 第2Q累計	2020/3期 第2Q累計	増減額	前年 同期比
<b>連結</b>	3,215	2,901	▲314	90.2	▲84	▲13	+71	—
<b>洋装事業</b>	1,221	1,117	▲104	91.4	▲53	30	+83	—
<b>意匠撚糸 事業</b>	974	866	▲108	88.9	52	44	▲8	—
<b>和装事業</b>	749	644	▲105	85.9	8	9	+1	112.5
<b>寝装事業</b>	270	273	+3	101.1	13	16	+3	123.0
<b>本社・調整</b>	—	—	—	—	▲105	▲114	▲9	—

※連結売上高、経常利益、当期利益は連結相殺を含んでおります。

## マットレス事業が安定化とギフト事業の伸長で增收増益達成

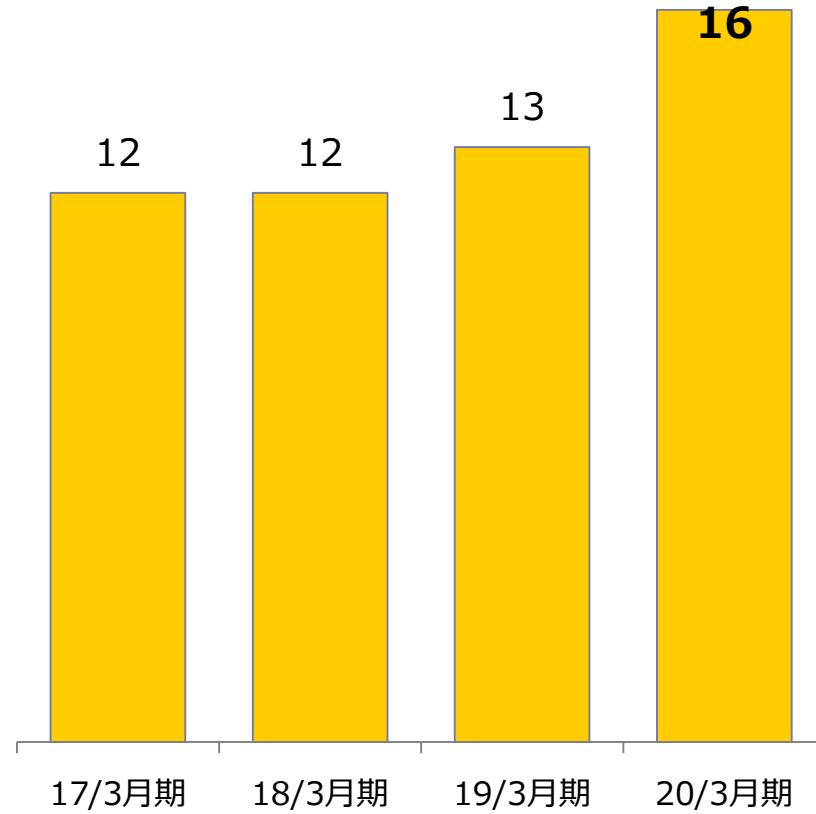
売上高

(単位：百万円)



営業利益

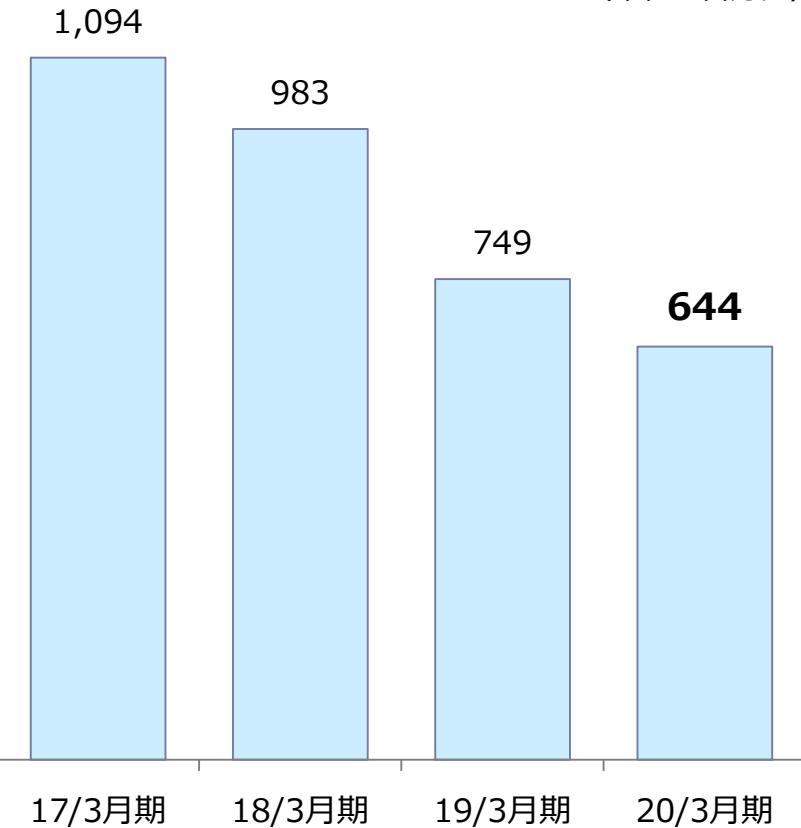
(単位：百万円)



売上減少に歯止めかからずも、前期来の構造改革効果で黒字化

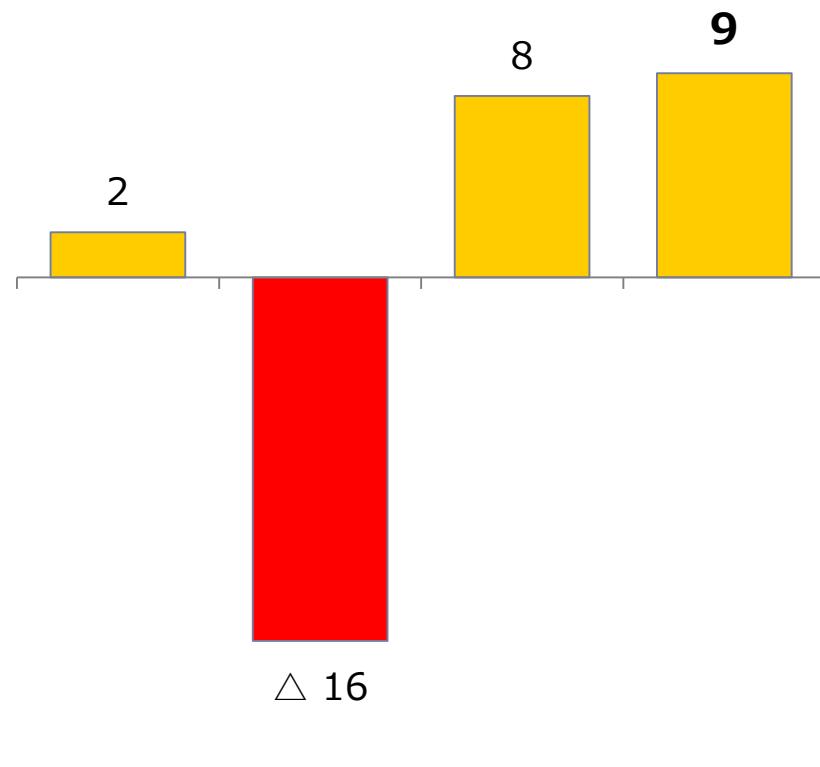
売上高

(単位：百万円)



営業利益

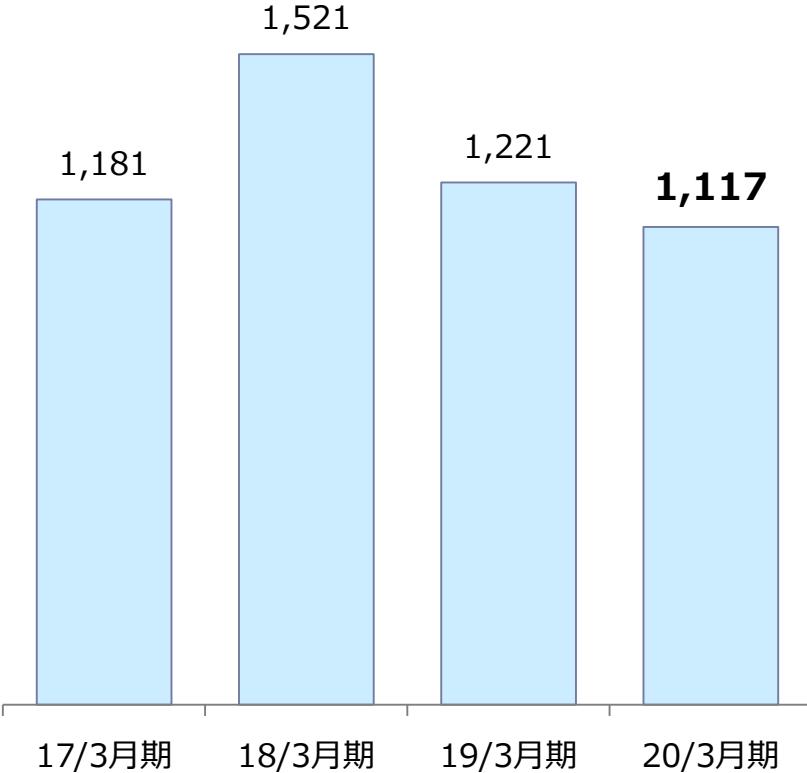
(単位：百万円)



馬里邑事業が黒字転換したことで、洋装事業全体を押し上げる

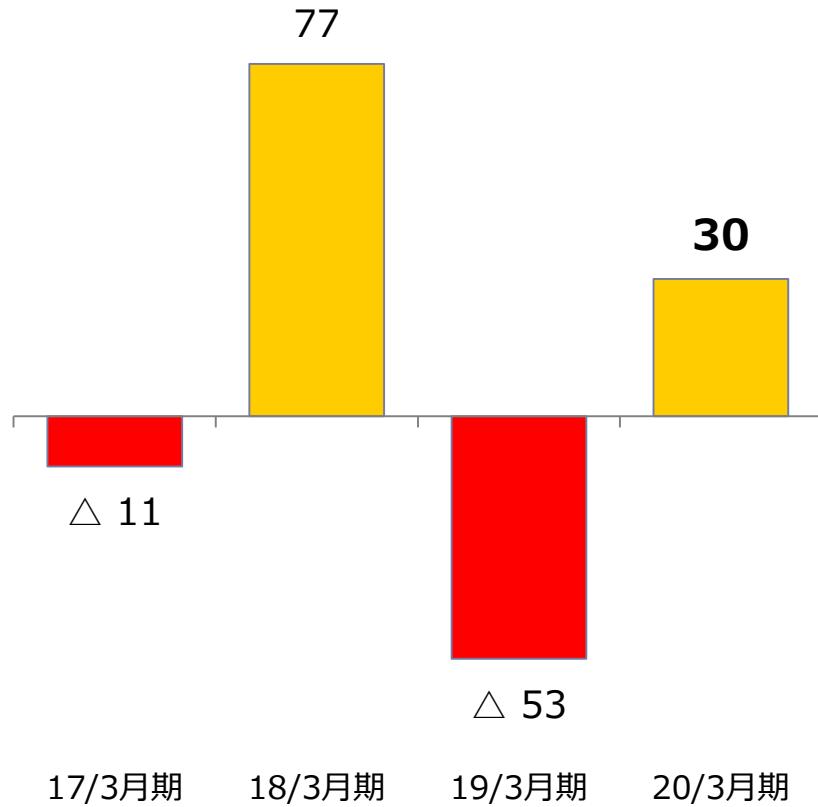
売上高

(単位：百万円)



営業利益

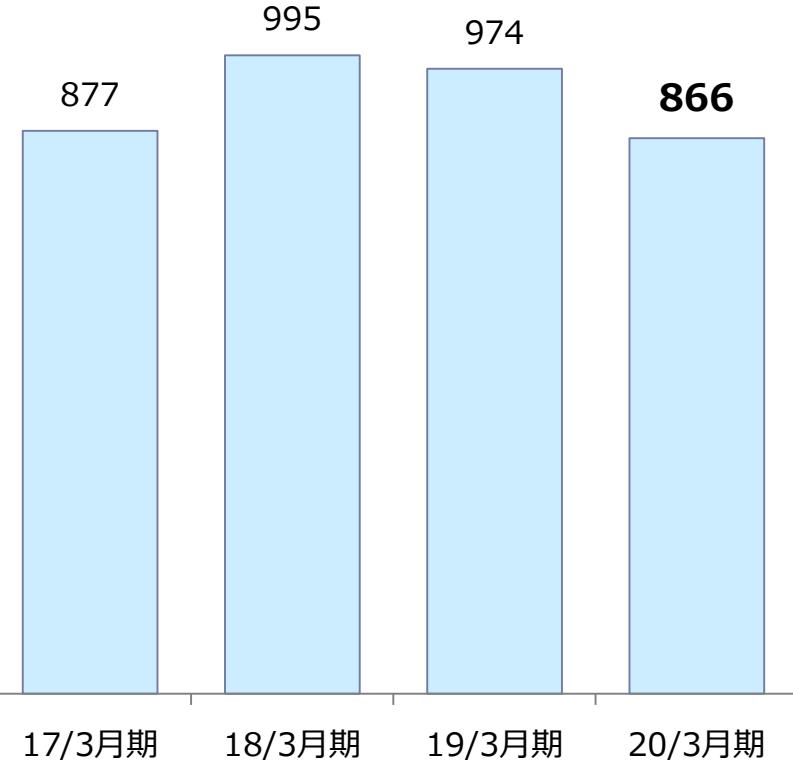
(単位：百万円)



コア事業である意匠撚糸は国内は順調推移も、中国景気の悪化傾向を背景に海外が悪化。OEM事業のイエリデザインも低調

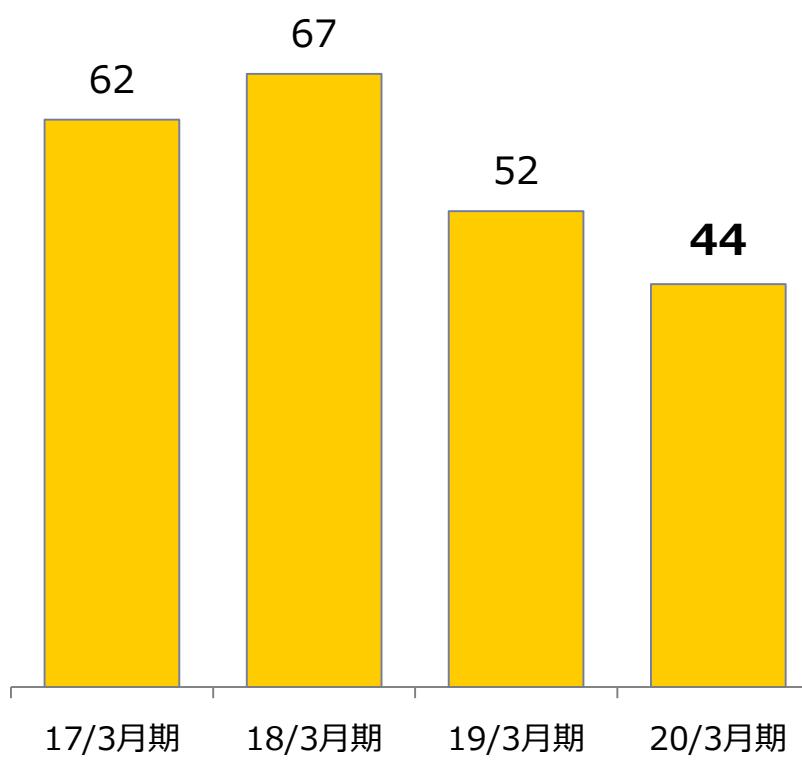
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



# 今後の経営方針

## ①コアである意匠撚糸事業への経営資源集中投下

- ・中国法人の財務基盤強化による直販比率拡大
- ・人員体制強化のため、グループ人事交流活用
- ・海外事業の更なる拡大のため欧米展示会参加

## ②第2の柱である洋装事業の再構築

- ・好調なアパレル事業部のアカウント付加
- ・収益改善が弱い丸福事業部の再構築
- ・馬里邑事業部の新催事導入による增收

## ③低い粗利構造からの脱却のため、事業領域を拡大

- ・収益性の高い新たなチャネル開発の一層推進
- ・領域拡大を前提に、事業ポートフォリオを再編

# 連結貸借対照表

堀田丸正 株式会社

- 自己資本率は前期末74.1%から78.6%と財務体質は健全維持
- 流動比率は前期末380%から463%と更に良化傾向顕著

(百万円)

資産の部	2019/3 期末	2019/9末	増減額	負債・ 純資産の部	2019/3 期末	2019/9末	増減額
流動資産	5,442	5,182	▲260	流動負債	1,430	1,117	▲313
固定資産	279	262	▲17	固定負債	50	48	▲2
資産合計	5,722	5,444	▲278	純資産	4,241	4,279	+38
				負債・純 資産合計	5,722	5,444	▲278

# 今期の業績見通し(年間)

堀田丸正 株式会社

第1Qに当期純利益上方修正(協同組合清算に伴う特別利益計上)

(単位:百万円)

	2019年3月期 年間	2020年3月期 年間	増減額	前年同期比
売上高	6,665	6,445	▲220	96.6%
売上総利益	1,602	2,044	+442	127.5%
販管費	2,039	2,004	▲35	98.2%
営業利益	▲437	40	+477	—
経常利益	▲419	33	+452	—
当期純利益	▲465	65	+530	—

## 免責事項

**本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。**

**本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。**